



千葉県いすみ市 吉田清秀さん

収穫前には定番なんだ。カメムシとシンクイムシに効くからね。

実が大きく糖度が高い千葉県岬町特産の「みさき梨」。その岬町の海水浴場にほど近い国道を走っていると、吉田さんのなし直売所が見えてきました。直売歴は30年以上で、幸水、豊水、新高など95aを作付。「大変だけどお客さんとの会話が楽しいから」と吉田さんは言います。リピーター客には海が近いことからサーファーも多いのだとか。「最初は一人で来てたサーファーの人が、結婚して子供を連れてくるようになったり、ドラマを見てみたいで楽しいんだ」。だからこそ、喜んでもらえる品質の高いなしをつくりたい——そう話す吉田さんは以前からのロディー水和剤ファンです。

園地の問題害虫は、カメムシ類とシンクイムシ類。夏に密度が高まるこれらの害虫に対し、ロディー水和剤1000倍液を7月下旬、全圃場に散布していらっしゃいます。

「幸水は7月下旬から収穫が始まるんだ。ロディー水和剤は収穫前日まで使えるでしょ。だから便利。問題のカメムシ

とシンクイムシにばっちり効くから、収穫前のこの時期にはロディー水和剤が定番なんだ」。

ロディー水和剤は20年前から使ってる、と自慢のなしを眺めながら吉田さんは続けます。

「ハダニとかハマキムシにも効くんだよね。いろいろな害虫を同時に抑えてくれるのは助かる。ロディー水和剤をまいておけば大丈夫っていう安心感があるんだよ」。

体力の続く限り、直接消費者とふれあい、おいしいなしを食べてもらいたい。77歳とは思えない若さと熱意に満ちた吉田さんでした。

吉田さんのなし防除カレンダー

